

小山市児童用 まりこちゃん・びわくんと学ぶ
摩利支天塚・琵琶塚古墳学習パンフレット

くにしていしせき
国指定史跡

もっと知りたい！

まりしてんづか びわづかこふん
摩利支天塚・琵琶塚古墳



まりこちゃん

「摩利支天塚古墳（左）」と
「琵琶塚古墳（右）」を空から見た写真だよ。
ここは小山市の北部にある、飯塚^{いづか}という所
で、思川^{すがた}と姿川の間にあるんだよ。

2つの古墳は、栃木県最大級の古墳で、
※1 国指定史跡^{くにしていしせき}になっているよ



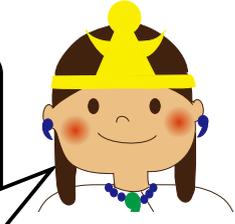
びわくくん

摩利支天塚・琵琶塚古墳について調べてみましょう。

※1 国指定史跡…国から指定された史跡^{しせき}。「史跡」とは、貝塚^{かいづか}・集落跡^{しゅうらくあと}・城跡^{しろあと}・古墳などの遺跡^{いせき}のうち、歴史^{れきし}・学術上^{がくじつじょう}価値^{ちかひ}の高いものを指します。

古墳ってなあに？

古墳はね、その地域を支配していた王や豪族（権力をもった人）が、死んだ後も自分の力の大きさを示すためにつくらせたお墓なんだ。古墳の大きさは、そこに眠っている人の力の大きさを示しているんだよ。



右は、大阪府堺市にある日本で一番大きな（長さ約 486m）前方後円墳（P3）「大山古墳」だよ。



※大阪府堺市博物館提供

多くの古墳は、亡くなった人を納める部屋（石室）とそれをおおう大きな盛土（墳丘）、回りにめぐらされた溝（周塹や周堀）からできているよ。石室の中には遺体といっしょにいろいろな品物（副葬品）が入られていて、墳丘の上には埴輪などが置かれているよ。



（ 形象埴輪 ）

いつごろつくられたのかな？



3世紀ごろ、卑弥呼の時代から日本各地で古墳がえられるようになり、7世紀ごろまで古墳はさかんに作り続けられました。このころを「古墳時代」と呼んでいます。

思川流域では、5世紀後半ごろから古墳がつけられ始め、この地域をおさめていた豪族2代のお墓として「摩利支天塚古墳」「琵琶塚古墳」がつけられました。



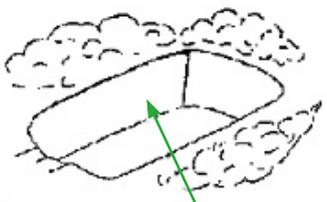
「摩利支天塚・琵琶塚古墳」は、栃木県最大級の前方後円墳です。この古墳の大きさから、この地域が当時の下毛野国（現在の栃木県南半分）の中心的な役割を果たしていたことがわかります。

古墳はどうやってつくるのかな？

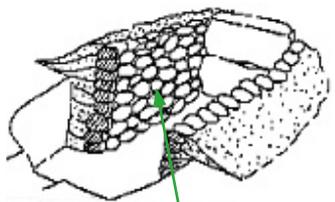
古墳の多くは、表面に石がしきつめられ、いろいろな形の埴輪が置かれました。古墳を築くには、すぐれた技術者（設計者や現場かんとくなど）と多くの人（石・土・食料・道具などを運ぶ人、土木作業をする人・埴輪を作る人、食事を作る人など）を働かせることのできる、大きな権力をもった人の力が必要だったと考えられています。

また、古墳が川の近くに多く残されているのは、石室の壁に使う河原石や天井に使う大石が、川を利用して運ばれたためと考えられます。

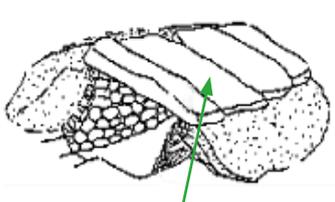
《横穴式石室のつくり方（例）》（5世紀後半以降）



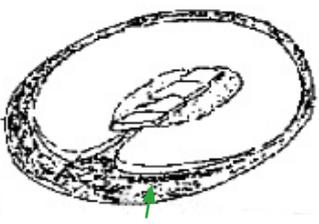
① 石室をつくる穴をほる。



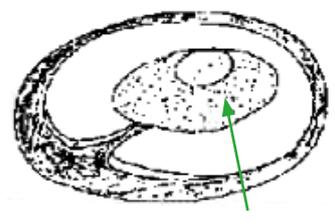
② 河原石でかべをつくる



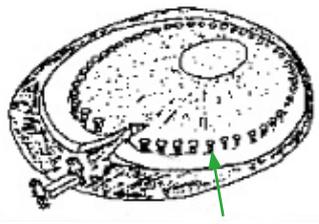
③ 天井に大石をかける。



④ 周りに周堀をほる。



⑤ 石室の上に小さな墳丘をつくる



⑥ 墳丘を大きくして埴輪を並べる

小山市にはこんな形の古墳があるよ

《前方後円墳》

円形と長方形をつなぎ合わせた形です。摩利支天塚・琵琶塚古墳もこの形をしています。



摩利支天塚古墳（左）
琵琶塚古墳（右）



《円墳》



上から見ると丸い形をしています。日本で最も多く見られる古墳です。

《帆立貝形古墳》



ホタテ貝の形に似ている古墳です。

《方墳》



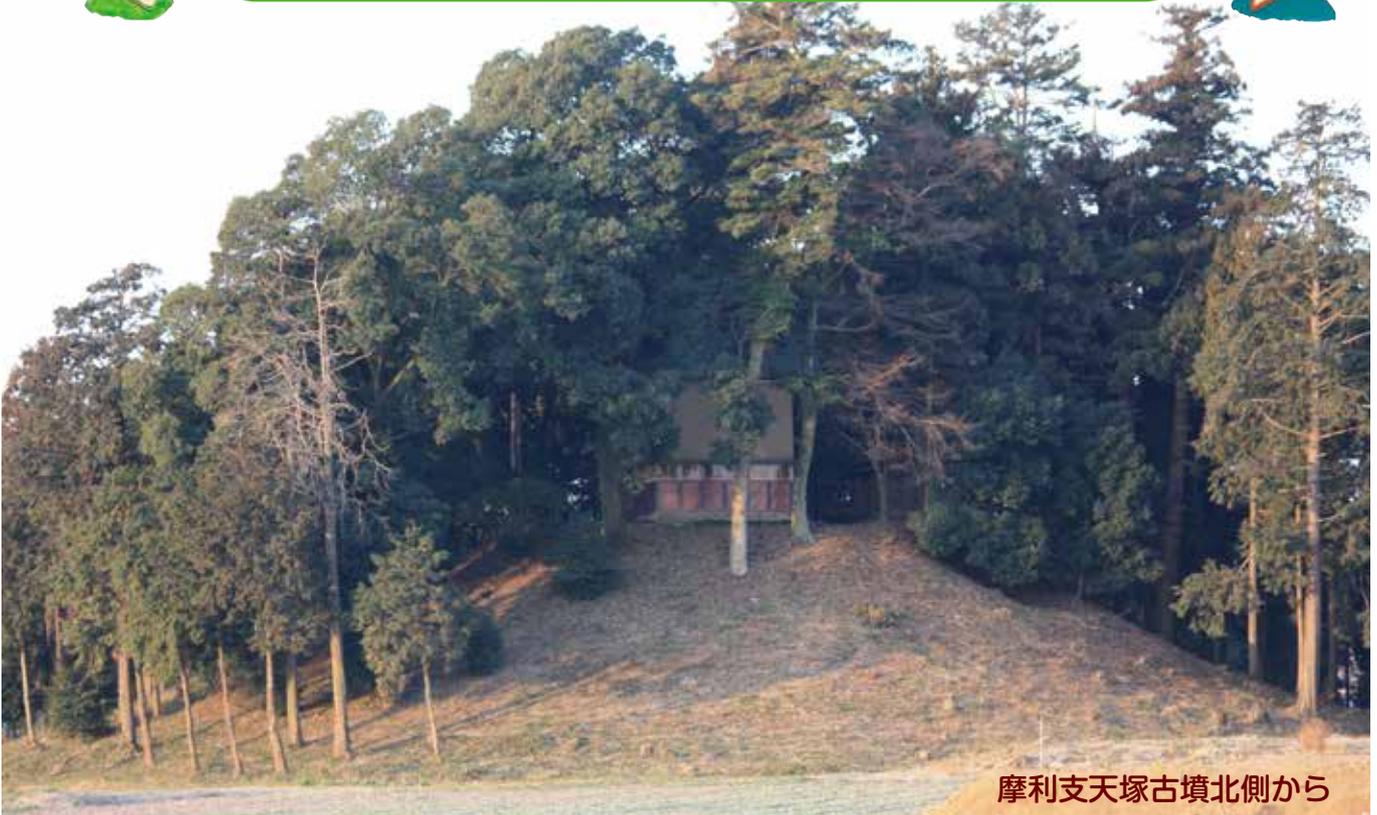
上から見ると四角い形をしています。



他にも、全国にはいろいろな形をした古墳があるよ。



摩利支天塚古墳を調べてみよう！

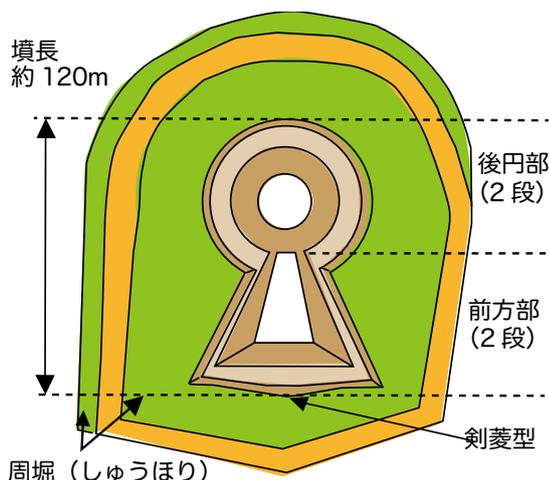


摩利支天塚古墳北側から

5世紀から6世紀はじめに、下毛野国をおさめていた豪族のお墓としてつくられた、長さ約120mの前方後円墳です。墳丘は、前方部・後円部とも2段になっていて、前方部分の先たんが「剣菱型（ひし形）」をしている点が見つけられました。つがえんとうはにわがたえんとうはにわのほかに、人や馬の形をした埴輪がたくさん見つけられました。

古墳のまわりには、古墳と外部を区別したり、古墳に土を盛るためにほられた周堀が、二重にあります。昭和53年（1978年）国の史跡に指定されました。

高さ11mの後円部には、「摩利支天社」がまつられ、本殿は市の文化財に指定されています。



後円部「摩利支天社」



琵琶塚古墳を調べてみよう！

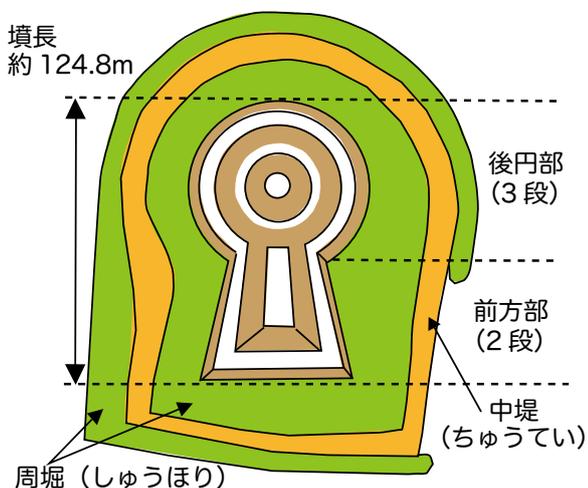


菜の花と琵琶塚古墳

6世紀前半、「摩利支天塚」に続いてつくられた長さ約125メートルの大型(県内最大級)の前方後円墳です。墳丘の前方部は2段、後円部は3段になっていて、つつ型の円筒埴輪がたくさん見つかりました。

古墳の周りには、周堀が二重に掘られていて、左右対称の形ではありません。大正15年(1926年)、国の史跡に指定されました。

前方部に木道が整備されていて、高さ約11メートルの古墳の一番上までも登ることができます。古墳の東側には地元の人たちの育てた菜の花畑が広がり、春には桜並木とともにとてもきれいな景色が広がります。



琵琶塚古墳から見つかった埴輪



あさがおがた朝顔形埴輪



円筒埴輪

発掘の様子

琵琶塚古墳を発掘しているよ。長い年月の間に土にうまってしまった古墳を丁寧に掘りおこしていくことで、つくられた当時はどんな形をしていたのか、くわしく調べているんだよ。



まりこちゃん

びわくん



木を切って、調査の準備をするよ。



ぼうのような物をさして、しるしをつけているよ。
大切な文化財だから、掘る場所もしんちょうに決めていくんだね。



まず、調査をする場所の表面の土を取りのぞいて、少しずつ掘っていくよ。



たくさんの出土品（埴輪がわれたものなど）が出てきたね。

小さなシャベルなどを使って、一つ一つ手作業で掘り出していくんだよ。



はにわ
埴輪の形がそのまま残されている部
分が出てきたよ。



こんなふうに1
列に並べられて
いたんだね。



埴輪をきれいに掘り出したあとだよ。



あな
穴のあとがくずれ
ないように、中に
砂を入れて穴をう
めておくよ。



きちよう しせき
貴重な史跡をこれか
らもずっと大切に残し
ていくために、もとに
もどしておくのね。



はつくつ
発掘で見つかった埴輪や
しゅつどひんは、てんじしせつ
出土品は、展示施設で大切
に保管されています。

小山市の取組！



まりこちゃん
びわくん

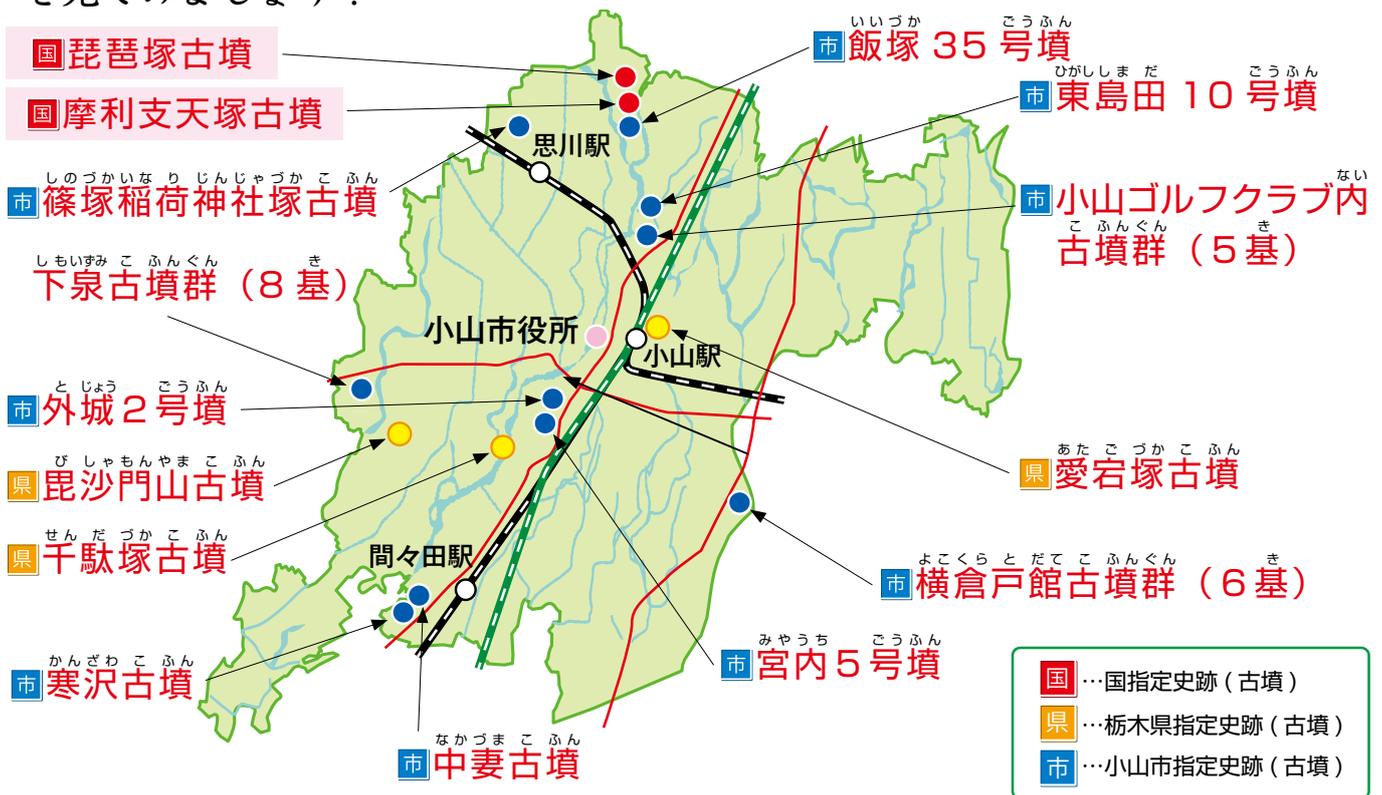
小山市では、摩利支天塚・琵琶塚古墳にたくさんの人に来ていただき、古代の様子を感じてもらうことができるよう、発掘調査や拠点施設をつくる計画を進めています。



拠点施設完成イメージ図

小山市がほこる多くの古墳

小山市には、1000基以上の古墳がありました。(すでに消滅しているものも含む)そして、国や県の指定史跡も数多く残されています。下の地図を見てみましょう！



発行 平成29年3月
 編集者 小山市教育委員会 教育研究所
 発行者 小山市教育委員会 教育研究所

—写真提供及び取材—
 小山市立博物館 小山市立車屋美術館 小山市役所

名 前

— 参考文献 —
 市制60周年記念第64回企画展
 「指定文化財でふりかえる小山の歴史」
 第59回企画展「思川流域の古墳」
 市制50周年記念
 第47回企画展「思川の自然と歴史」ガイドブック
 小山市立博物館常設展示解説
 小山市教育委員会生涯学習課
 「国史跡 摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳」